

営農技術情報

—畑作（大豆⑤）—

令和3年 7月 27日発行

上川農業改良普及センター名寄支所 TEL01654-2-4524

JA道北なよろ TEL01655-3-2521

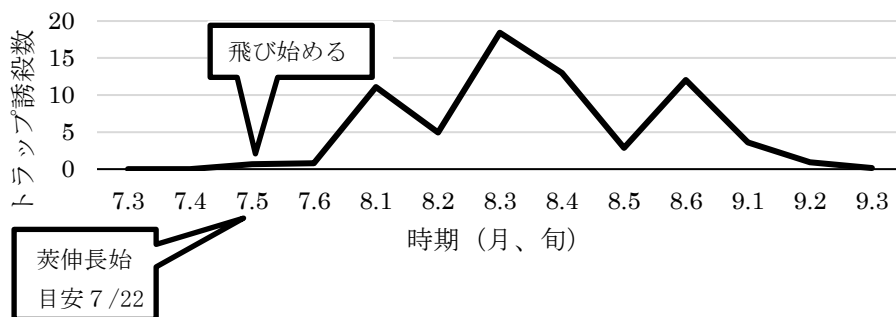
JA道北なよろ営農センターTEL01654-3-4307

マメシクイガの適期防除を実施しましょう！

1 マメシクイガが飛び始める時期です。

名寄市内で行った、直近5年のフェロモントラップの調査結果では、平均7月5半旬には成虫が飛び始めています（早い年は7月4半旬、遅い年は8月1半旬、図1）。

図1 過去のフェロモントラップ調査結果（直近5年の平均値）



2 マメシクイガ及びカメムシ類の防除

マメシクイガは、大豆の子実を食害する重要害虫です。莢の表面に産卵し、ふ化した幼虫が莢の中に潜り込んで子実を食害します。被害粒が多いと大きな減収要因となります。ほ場内で越冬するため、連作ほ場では成虫の発生量が多くなります。

また、近年、道内の各産地でカメムシ類による子実の吸汁害（しみ症状）により、販売先からクレームが来る事例が発生しています。マメシクイガとの同時防除が可能です。

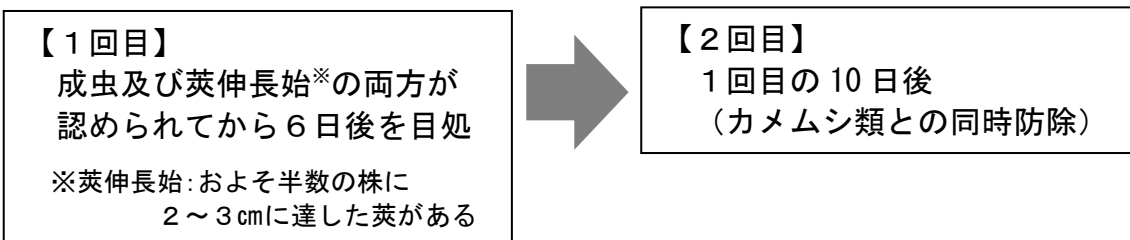


表1 マメシクイガ・カメムシ類の防除薬剤例

(令和3年度JA農作物施肥・病害虫・雑草防除ガイドより)

散布時期	薬剤名	系統名	使用倍率	使用時期 (収穫前日数)	使用回数	特性	
						発現	残効
1回目	ゲットアウトWDG	ピレスロイド	3,000倍	7日前	3	速	中
	プレバソンフロアブル5	ジアミド	4,000倍	7日前	2	速	長
2回目	トクチオン乳剤	有機リン	1,000倍	30日前	3	中	中
	エルサン乳剤	有機リン	1,000倍	7日前	2	速	短

※「ゲットアウトWDG」「エルサン乳剤」は、アブラムシ類にも登録がある。

※「トクチオン乳剤」は、アブラムシ類、ハダニ類にも登録がある。

※特性は、「令和3年度 ホクレンくみあい農作物病害虫・雑草防除ガイド」より。

◎ 農作業中は休憩、水分をこまめにとりましょう ◎